

第1学年 数学 科

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書『新しい数学』 問題集『よくわかる数学の学習』 音声計算トレーニング（プリント）	持ち物	（毎回必要なもの） 教科書、問題集、ノート、 ファイル、筆記用具、 （必要に応じて） コンパス、三角定規、分度器、 はさみ、のり
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始まりにウォーミングアップをします。（音声計算トレーニング、数字パズル） ・教科書を基本として、問題集や授業プリントを使いながら学習を進めていきます。 <p><確かな学力を身につけるには></p> <p>計算公式を覚えて問題を解くだけが数学ではありません。なぜそうなるのか根拠を理解することが大切です。また、自分の考えを伝えようとすることで、筋道立てて考える力が身につきます。</p> <p><家庭学習では></p> <p>問題集は、学習したところまでを自分で進めていきましょう。後回しにして提出日間近に取り組み始めると、大量の問題を短期間で解くことになり、しんどい思いをします。計画的に！</p> <p><定期テストでは></p> <p>教科書の「基本の問題」「章の問題A・B」や問題集で間違えた問題を正解するまで解き直すなど、反復練習によって理解を深めましょう。答えを覚えるのではなく、解き方を覚えることが理解を深めることにつながります。</p> <p><学び合いについて></p> <p>まずは1人で問題の解き方を考えましょう。分からない場合は他の人に聞き、解き方を理解しましょう。また、教える側も理解が深まります。ヒントを出す形もいいですね。話し合いでは他の人の考えを聞き、自分になかった発想を知ることが深い理解につながります。</p>		
学習上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ○授業規律を守り、みんなで良い授業環境をつくりましょう。 ・授業妨害などで、指示が聞けない場合は、落ち着くまで別室で学習します。 ○ノート、問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。 		

学習内容および評価規準

	月	単元計画		評価の観点 評価の方法（見取り）					
一学期	4	0章『算数から数学へ』	中間	知識・技能	① 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則を理解する知識を身につけている。 ② 基本的な計算や問題を解いたりする技能を身につけている。	・定期テスト ・授業での取り組み、成果			
		1章『数の世界をひろげよう』							
		1節 正負の数							
		2節 加法と減法							
	5	3節 乗法と除法	期末						
		4節 正負の数の利用							
	7	2章『数のことばを身につけよう』	期末						
		1節 文字を使った式							
8	2節 文字式の計算	期末							
	3節 文字式の利用								
二学期	9	3章『未知の数の求め方を考えよう』	中間	思考・判断・表現	数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な思考や判断を身につけている。	・定期テスト ・授業での取り組み、成果			
		1節 方程式とその解き方							
		2節 1次方程式の利用							
		4章『数量の関係を調べて問題を解決しよう』							
	10	1節 関数	期末						
		2節 比例							
	11	3節 反比例	期末						
		4節 比例と反比例の利用							
	12	5章『平面図形の見方をひろげよう』	期末				主体的に学習に取り組む態度	①知識・技能を身につけるためや、思考力・判断力・表現力を身につけるために学習にねばり強く取り組んでいる。 ②①のねばり強い取り組みを行う中で、自らの学習方法を見直して、改善できるように調整しようとしているか。	・自主学習 ・授業中の取組、成果 ・課題への取組
		1節 図形の移動							
		2節 基本の作図							
		3節 おうぎ形							
三学期	1	6章『立体の見方をひろげよう』	学年末						
		1節 いろいろな立体							
		2節 立体の見方と調べ方							
	2	3節 立体の体積と表面積		学年末					
		7章『データを活用して判断しよう』							
	3	1節 データの整理と分析		学年末					
		2節 データの活用 ことからの起こりやすさ							

